

～コロナ禍の一年を振り返って～

～都茂地区～



都茂地区は令和3年7月現在、457世帯864名の方が暮らしています。昨年に引き続き、今年もコロナ禍の影響で地域行事の規模縮小や中止があり、地域の活気を感じられる機会も減りました。公民館活動も例外ではなく、地区民運動会や小学校の通学台宿などを中止しました。そんな中でも、地区内外の皆さんに公民館や地域のことを発信できればいいなと思い、SNSを利用した広報活動を始めました。Facebookは5年前から活用していましたが、今年からはInstagramも使ってより多くの人に都茂地区や公民館を知ってもらおうと思っています。そして、都茂地域では【都茂地域自治組織 ささえ愛都茂】が設立して、一年半が経過しました。その一年半の活動を報告します。



～お助け隊 河川草刈り～



～都茂鉱山～

まず【地域の生活を守る活動】として、平成25年3月から都茂地区連自治会が運行を始めた【自治会輸送 ささえ愛都茂】を自治組織が引き続いて取り組んでいます。次に【地域の環境を守る活動】として【お助け隊】を立ち上げました。人口減少・高齢化が進み生活道・河川の草刈等、地域の生活環境を地域で維持していくことが困難になってきているため、地区住民で構成されている【お助け隊】がその生活環境を維持するお手伝いをしています。

最後に【地域活性化のための活動】についてです。令和2年6月、その年の日本遺産「中世日本の傑作 益田を味わう」地方の時代に輝き再び「が認定され、その構成文化財の1つに都茂鉱山が含まれました。

そのため都茂鉱山を活用し地域を活性化する活動に取り組むことにし、まず始めます。併せて、これといった土産品がなかった都茂にお土産品を「都茂クッキー」を開発しました。

商品は【道の駅サンエイト美都】【美都温泉湯元館】【常盤屋】等の店頭や各種イベントで販売をし、都茂のPRを進めていきます。また、ささえ愛都茂を知っていただくため、ささえ愛都茂のオリジナルポロシャツとブルゾンを作り、活動の中で着用していきます。またInstagramも開設し、活動の様子のご紹介も始めましたので、ぜひフォローしてください。



～ささえ愛都茂 オリジナルブルゾン&ポロシャツ～



～ささえ愛都茂 InstagramQR コード～



～都茂クッキー&ストラップ～

東仙道地区



東仙道には、令和3年7月末現在371世帯738名が居住されています。「コロナ前の令和元年12月と比べると世帯数は2世帯増加していますが、住民は34名も減少しています。東仙道小学校の新生も、今年は一名でした。現在の在校生は17名。新型コロナウィルスの影響で、地域と学校の交流活動もすっかり減りさみしいものです。

令和2年から3年にかけて、公民館で行われる地区文化祭、小学校・保育所・地区民連合運動会、四ツ山歴史ウォーキングなど様々な行事が中止・縮小されてきました。しかし、この状況下でも東仙道には変わらないものが沢山あります。



～2021年東仙道小学校入学式～



～料理教室～



～登山道整備～

公民館では、夏休みに行われる小学生対象の宿泊研修や料理教室「1人でもできるよ」を例年通り開催しました。1・2年生はカレーライスとサラダ、3・5年生は餃子を作りました。参加した子どもたちは、調理をしながら「これやったことある〜」「上手に包めない」など言いながら、少しずつコツをつかんで完成させます。みんなで食べる楽しさ、料理を毎日する大変さなどを感じてくれたらうれしいですね。

地域の団体も活発に活動しています。その中に四ツ山保存会があります。四ツ山を巡るさとの山として親しんでもらうために、登山道の維持・管理を行っています。2年連続中止ではありませんが、四ツ山歴史ウォーキングもその一つです。これらの長年の活動が認められ令和2年度には環境省自然歩道関係者功労賞を受賞しました。また、仙道地区を中心に活動する老人会の「合歓の会」は、長年にわたる東仙道保育所との交流活動や、小学校での農業体験の手伝い、独居老人を訪れる友愛訪問活動と言った地域貢献活動が認められ、令和2年から3年にかけて「小さな親切実行賞」「老人クラブ活動大賞」などを受賞しました。



～老人クラブ活動大賞受賞～



～神宝山八幡宮～

仙道の神宝山八幡宮は、令和2年5月に益田市が日本遺産認定された構成文化財の一つです。益田氏が仙道に居を構えていたことに由来していると考えられています。神秘的な佇まいで、ちょっとしたパワースポットになっています。

まだまだ「コロナで先行きの見えない毎日ですが、東仙道にはこのほかにも魅力的な場所や人がいっぱい！平成30年に設立した東仙道ちいき協議会ではFacebookやInstagramをつづけて、その魅力を随時発信していますので、是非ご覧くださいね。

東仙道ちいき協議会
InstagramQRコード
FacebookQRコード

お知らせ

東仙道出身の永田勇さんの描かれた四ツ山などの絵画をご寄贈頂けるそうです。公民館にて展示を予定しております。



二川地区



じんごうカフェ

二川公民館では昨年の4月から地元の人々が気軽に集まれる場所がほしいという事で、元「スーパーじんごう」跡に平日朝9時～15時までの間「人の駅じんごう」を開設しました。このじんごうに特別な何かがあるわけではありません。友達と一緒に来ておしゃべりしたり、バス待ちに利用したりと様々な用途で地元の人に使われています。また月に1回「じんごうカフェ」と称して集まったりしています。



～じんごうカフェの様子～

美都温泉「湯元館」

美都町二川地区にある美都温泉は、地元や益田市内はもちろん県外からも多くのお客様が利用され、健康づくりと地域活性化の重要な拠点となっています。

美都温泉の中心施設である「湯元館」は、今年の5月3日に開業30周年を迎えました。この温泉は平成元年に当時の竹下内閣が実施した「ふるさと創生事業」を活用し、松下興産株式会社の協力を得て泉源ボーリング工事が行われました。225日間の日数を要した工事は平成2年3月に完了し、地下1,200mから日噴流量115t、地下温度31.5度の見事な温泉が湧出しました。当時の美都町長若杉茂樹氏は自ら記した「美都温泉沿革」の中で、「遂に1,200mの地中深く眠る神秘の水を呼び醒ますことに成功した。」と感激の思いを述べています。美都温泉の泉質はアルカリ性単純温泉で無色透明、肌にまとわりつくような独特の「ぬるるる」触感、美人湯として評判となり、また体の芯から温まることで体調も良くなる、と多くの人で賑わうようになりました。



～安全祈願祭～

その後、周辺には旅館や民宿、飲食店が次々と開業し、それまで人口流出と経済の停滞に悩んでいた美都地域の、特に二川地区の様相を一変させました。平成6年には国道191号線沿いに美都物産館サンエイト（現：道の駅サンエイト美都）がオープンし、地域の特産品開発も盛んになりました。周辺市町村の住民からは「美都町はふるさと創生事業の1億円を最大限に活用して地域を活性化させた成功モデル」と言われたそうです。

現在はコロナ禍の影響等もあって美都温泉の利用者も減少傾向ですが、地元では「柴犬の聖地・石号の里」事業など地域全体で新たな魅力づくりにも取り組んでいます。ふるさとへの帰省には何かと気を遣う昨今ですが、お帰りの際にはぜひ美都温泉の魅力を感じてみてください。



～温泉開館セレモニー（平成3年5月3日）～

美都温泉「湯元館」

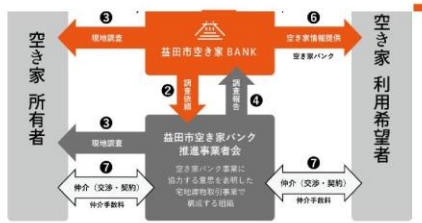
住所 島根県益田市美都町宇津川口 630-3
 電話 TEL 0856-52-2100
 営業時間 8:00～21:00（最終受付 20:30）
 定休日 毎週水曜日
 （※水曜日が祝日の場合は営業します）



～美都町内に空き家をお持ちの方へ～

空き家バンクに登録していただける空き家を探しています

空き家バンク制度の概要図



空き家バンク制度とは…

益田市は、空き家の有効活用を通して、都市住民との交流拡大や、定住促進による地域の活性化を図るため、「益田市空き家バンク制度」を設けています。

この制度では、空き家を賃貸あるいは売却してもよいと考える所有者と、益田市へのUターン希望者にそれぞれ登録していただき、空き家の情報収集と提供を行っています。

美都町内で、空き家を探しています

令和3年8月末現在、美都町での空き家バンク登録数は5軒です。美都町での田舎暮らしを強く希望する方々の要望に添えていくため、空き家バンクへの登録数を更に増やしていきたいと考えています。美都町内に空き家をお持ちの方で、空き家を「貸してもいい」「売却してもいい」とお考えの方は、是非一度、下記までご連絡ください。

■お問合せ先 益田市役所 連携のまちづくり推進課 定住促進係

電話 0856-31-0173 (平日8時30分～17時15分)

空き家バンクに登録されている物件を、インターネットでご覧いただけます。



益田市空き家 BANK

<https://akiyabank.masudanohito.jp/>



移住を検討している方

地域研究をしたい方

都茂地区に よしのけ 「民泊 吉野家」が開業しました



宿主 吉野和則さん

益田市出身。図書館司書や会社員、玩具のフランチャイズや塾経営、益田市種地区の地域づくりに携わるなど、幅広い経験の持ち主です。現在、島根県立大学大学院にも在籍し、益田市の高齢者福祉や地域交通の調査研究もなされています。趣味は海釣りや庭・花作り。奥様の敏子さんと二人暮らし。



石見地方への移住を検討・希望する方に、地域の案内や、風土や人柄などの情報提供をされるほか、この地域の研究をしたい方の「拠点」になればと、令和3年4月、自宅を活用し、民泊を開業されました。

空き家を活用して民泊を始めたいという方のご相談にも応じてさせていただきます。

【民泊 吉野家】

民泊 1日1組4人まで 1泊3,000円(税込、食事なし)
 ※飲食店の案内可
 体験 西条柿の栽培・収穫・干し柿づくり体験など
 所在地 益田市美都町都茂1175(旧川瀬医院)
 電話 090-7134-0628(吉野)



ふるさと会員への登録や、当情報誌についてのご意見やご要望、または、紹介したいモノや人、グループなどがございましたらぜひお知らせください。なお、ふるさと会員の登録は無料です。お問合せ等は左記電話番号またはメールアドレス chiki-m@city.masuda.lg.jp まで。

担当：地域振興課